後陵筆

文学部
913.52
H48y
4

913.52
H48y
4

東京大学
図書
日本文学共通
56-09400

東京帝国大学図書之印

○船積極位

天正年中に桐山と浦と小際義灘なる氏親主
堺やまたは戸田加藤と云ふ海賊国侍しと海
へ来る関東無双の武士にて侍ずみよ花法
ひろ面ハ八ケ七ツ方十二ケ潮なりてさる
くろたかとをくへ上ちやの位一つとなるしゆ
るおよ月みの位ひろ八ケ八ケ入方極位と数
ろしらしに一方ハ女ゆてば車の乗奥義なり色
とん乗しけるひ法ハ彩ハ之実ろ孫ろ赤ハ右
よをに極くろ方ハ船方位色代りて車一型

ころとぞ其人絶刀者とよばれ作級を聞ゆへし室町殿命
いて絶たるを継むとも死を決し世をいとはじかしと捨て
くそうらぶ衛門も其極とべしとれども是れに清みゝ
三寒しゐ唐人小隊氏没の郎到といふべき清観ふ
流つゝ天正六年戊寅七月二日三浦三條の隊へ唐
身羌岸をとげ身よ十歳して唐人が聞そて云
清名人の小姓あり儀清示をさうれま付たる力に
面白いそまじるれらもひらう云はにりひうくらせん
白衣のちからとうて廣庭よそてつうんといふ作
長刀のきやとまげして出とあふ右継のいしゆうと
わさすてめ由よもうくぐうてもぞ海と云やし紫

舞なしの出立や太刀をゝかついでかゝるとさきの名
人世の筋骨たくましく眼ざしは井の今ならう
てかんえうけるに太庭よ出ぢからをいれて立さる威勢
流の敵よおゝかひ猛勇を突かかる眼をといううしてか
らし大勢とおわげ長刀とり作よりいてぐらる敷ぢまゝて
雲よ人三間三尺飛廣庭よして大擲を立ずも附がて
あせ出すとなりし八分とれりてしい大勢のてうさを一
方の角に逃ぐ板もちからとらうしまちて掴たん
らいぶいうとも御らんし清侍與さけ目とたどりし
見物をして皆人は〆しりひうろハ十歳かうず今の猶
雜く本三百も三百も平〆人切て〆面よりを東へ

とひまくりおろす竜巻まつたてさ海撰さうまつ文
字義と紙したるふばらし秘術あるりさだもの力
と月白月金よりまつハ本力ともつて云ふの位
一力紙ともとゆまじけ十文し日本人力付りるふ
色うしびしば人ひわへつ一力紙色としはとと
ゆず千宮ゆ白丑の長力とおせるまて紙してし強べ
しし云ふ人ゆて色とりん紙きんと千文といるあすく
ゆて本色力とおると一力紙ハ紙と揃く白ゆ一ゆ文
小歌とあるかどうびどそまるる紙せ乃いるうを
宗とう張良の秘術とたくしずるまびう一力
紙ともなふ色しいみびう一力紙色と紙と揃ま

とひろぎてうゆず千文ゆよくれびうびる大事よ知く
長力と大ふたちるうびるうとゆるあるひ
しゆうゆまるるゆるの時ハ一力紙ゆまるう一力ゆとひ
ろぎてするハ千宮まるりびる廣ゆるとつた
まるけるけつるけ白さまの業せゆ揃るる
紙ふむゆるるうるゆ入紙くあるびうゆ紙ゆ一力紙
紙入へくゆ本力とふまるるうまるまびず宮もん紙紙
も無とさまるるう強く強とせいる新く明と
紙とるるや一力紙ゆ本力ゆりちびるりゆびるう

○酒家滅亡

上系安成流貪るる酒家ゆるまるるる

ありぼまん四郎ありて家業の精をはげ
おのづからの富貴と入聞まとなる事しも
傍先なれば酒の用捨ありはすぐれてうつくし
きをなぜゆゑにたてて手ぐしの髪とし
えんをやしなれば分上にあらず縁ひとり留よ二人女よ三人
おのづから嬬よ二十わまりよなりなれば父母ちつぎ
をうべき富貴人の娘ちとじすめとしいうけて
婦とこしの財と濃うと。妹じすめれすとなりの隣よ
まり世通こと婚姻をせづ分ハ自ら濃の
世話とたとりて世のてを後のようとて家風ハ月日
と送らづ行よ嬬よ婚姻をいたり後世と孫

ひいぐ我法名字の名の流ぼと入ぬと去の
びおて出家よなりなかぬ父母いてちなくこと事また
ひいうくらだら紀世太ちあさうあ義愛しく
書前しかくれしば世ちうもしく法度の教
も教うよ。親のもとくとりぶか不孝さよ親よ
うちみもまでなうぶ動きんとあしとれ。
日出家入法師ぐ法師のこうた
ちいうのつるよとしぬ家出法師ぐでうこ者
根切法なるずや。世いとてもうてそ個の
極れきまれで大事なら父母の者ら親ハし法
りぐみてなうとのしうとハ行ぐや。世間正法の

[illegible]ものとて[illegible]世は[illegible]や[illegible]ひなんあるべきなれば
[illegible]ひろれば[illegible]愛憎[illegible]さ又無のなりひさても
[illegible]の花のたとへ[illegible]ふぞ[illegible]なりさ後世とは[illegible]に
勤[illegible]事勤苦[illegible]てとりけ[illegible]ろ金[illegible]と[illegible]の
[illegible]とこ[illegible]ば[illegible]ば[illegible]て[illegible]て[illegible]の
紙[illegible]と[illegible]て[illegible]ものの[illegible]は[illegible]て[illegible]の
[illegible]もなく。二六時中称名の[illegible]大事し[illegible]
[illegible]の母の[illegible]と[illegible]てもろこびもこしてまことに[illegible]
[illegible]梵網経には布施の功徳[illegible]大なりし[illegible]
[illegible]紙律には悲[illegible]の利益[illegible]なる義[illegible]
[illegible]りたるなるべし。[illegible]

[illegible]けるとて文の紙[illegible]と[illegible]て。衣とこ[illegible]
[illegible]の人[illegible]れと[illegible]て[illegible]ぬ[illegible]て二男は[illegible]
[illegible]て遠[illegible]ば。[illegible]よ[illegible]業[illegible]たすをもなりぬ
[illegible]くあそびてもつぱらその[illegible]とす。[illegible]とすさ
[illegible]で。[illegible]紙と[illegible]ば[illegible]人[illegible]
[illegible]なる[illegible]の師[illegible]なる人[illegible]
[illegible]ば[illegible]ば[illegible]
[illegible]ば[illegible]業[illegible]
[illegible]紙[illegible]者[illegible]
[illegible]
[illegible]

らそのぞくもやうなる袈裟衣かとまちがひ紙ぶくろ
よはひ五十ばかりの男。一生あはれとおもひ
ひとりの人まうしうと父母を後のわかれと
告げてする者あれどもいとまうしきなく一よ
生をもとしたる九郎兵衛の金言なりこれ
世にさかりに親類ありて法師の
年の法華経のひとりとてもかうてもかうてもかうて年
て後世の親兄弟上人も親兄弟尚しかる
しかるに入くに仕方をうるぞあるべき
よ面の親兄弟のこすりに人の嫌焦さうに
しはく坂の鎖をうの地のうくなる意見をうりふぎ

なるとし法師をひとりこそ人の無花の下よ
といえるに後世をもとうる事なるとと説教をうけれ。
頭のかどぶハ法の和と入らるとうるはの決定をして。
消ていまこと無あるべり紅蓮地獄の場無
極よさりとしば極楽の場無すくまうざ
ふくうりなくぶうに行者なるハぶおそうこと苦悪
を更ぶやとこのかしばの発信をさ事のとより。
釈ハ法の前仕釈迦と人なるとと者時親よ者よ
しそうりくその原無と親ぶ沢おまうさ人又母の者ぶ
こと血をとぼりてそうけそうくたる妙物ともこうり
そうそぶ分の禁題しまうこと仏よりは親ぶ

と傳ふるとかの屬を尋ねて走りまはるうち俊傳
事となりて今は苦患をすてしかるんと願ふこと
いとけなく伝傳事仕業と称ずるんぢ形及び嫌む
ものこの人皆名流流の稚となりて今果てず流流
つづき生の時分よりなる稚なしく〳〵愛はし
なくあるべからざるうつぢせりてもわづ飛稚作て
し器とのぐんしるひおりて切方なる流せる。湯
鉢をこの鉢地と代なりぬの兄弟となづけて
ちあるべきにはんんどうよ俊事となりて常ひ
くしばものち鉢悪しみくまるこらぢさぐて
如仏得脱しけんとべ皆なりしあるもの初の物

けるうの藥地の植稚人うも鏡稚ありてこまりう。
代俊傳勸戒のあるなりてぢふ作うる沒めた。
流べようせしてふ

○迷惑問答

そのこと屬可長光ハ初の兼備の和漢うて悟道養
明の学あるも高思の稚のはいでのある時義清の
井の君とるこのひーぐ作ぬ早でと書るも家の流
場べ蓮寺よハさうまれる流わりるれぢづ称べの
後一教ーのひるも教ぐりに廟よ明流んなく流
のこ不ぢ俊ようけしさしてあとさまぐ家の時寺
泊二門の墓の前ようる年ごろ和女房久まざりてや

せけるまことそらぶ揚ゝうゝとして
ていて出ひ一言も物いはずかゝ
高ぶを示しきるその文よ同陸北獄受答時少仁長
ゝうあゝ次出圓通入圓通仁文有北獄受答時少仁長
幽霊まゝ空形小書ていく夢北獄紙者し紙
長発言て真神仁使拙とのゝまゝ幽霊完ゝ
清ゝ世ゝ長発幸霊入ゝ後ゝ
まゝ清ゝ時仁ゝゝ注釈ゝて幽霊し同答ゝ
つゝ発仁者なゝゝたゝ揚ゝゝの信用とゝて
幽霊ゝ者ゝ物ゝゝの同東左ゝ絵拙氏ゝ実春
ゝ敬おゝ敬の乳母ゝゝゝゝ家ゝゝいく

揚同せゝゝ発して後仁寺ふゝゝゝゝ信幸怪と
ゝ行ゝゝゝゝゝ出ゝゝゝゝ後仁幽霊ゝのゝ
ゝとゝゝ仁時ゝゝゝ後仁幽霊ゝゝゝゝ時ゝ
ゝゝ寺ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ一人も同答せ信
ゝゝ長発仁後ゝゝ話ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
代表拙氏ゝ清ゝ発ゝゝゝゝゝゝゝ
拙国永久ゝ長ゝゝゝゝゝゝゝゝ

りんとしりて、弟の三郎義教を乃下総として、関東の軍
を義とり、紀伊の国の義を持氏に付属せり。紀
享十一年己未二月十九日、持氏長男義久に
又、滅亡しぬ。ひろ沼男春王丸、安王丸、
八幡宮と再び出陣と、笠原と、
不和、落城せり。義久、自殺、乃至、
まもなくして、逆心の徒、
き、新田、岩松、高氏、
せんだんの二郎、
なるべし。一城乃切と、焼かれ、毒乃出と、
ぶてなりとて、

やがて、義教、いかり、
はげしかりしかば、
とかしの、安房、
ハ、ふかく、
下野乃国人、
ゑ、
洪水、
絶し、
う、
次男八郎、
秋葉三郎、

大敵なりしかば、
義教、
と、
小田原、
関東乃
十万余騎、
軍、
ますます、
洪水、
大ぜ、
大ぜ、
義久、
義尾に、
成氏、

と川備中守小山志摩守父子る條にも在ある朝倉田和泉
仲哉右衛門太夫三浦衛門尉大将文井左近の中村右衛門
三千余騎とをしめしにはの侍大将百余騎の浦小勢ハ大軍
といへども名誉なれハ攻よるへきいき勇無双なれバ人々はゞ
はハ此陣に討死を志と一同し。命とも生害よりかけ
うて討死せんとなり。孟子に天の時ハ地の利にしかずと。地
の利ハ人の和にしかずとかや、人和をもつてかゝる攻
まハ難しと。攻あぐんで見てたまはず大手よ向て矢
軍勢をもて敵をとりなしくところ。七手よしきろいお宮
是ハいまし宮殿をとりかへまんにいざやくさして御自ふ
けんしある武者は元より大勢のうぜ中ハ大手の戦場広

し給ふ武百余騎とりまき申し家臣の旗さし物をさし。
大将軍よハ七千余人ときひ旗もの八すなわちれ旗ぼ
ぢよますさまで行。白ぢつまの勢を先ハ小旗おしの
よにひ若ま旗の花をとり。おもて大手の門と押ひ
らき国旗をわけて出向い先陣まつきけて切て出る
たけはまつくれはとも。おいゑハくつにも陣後柳の本の陣よ
らまそ。瓶くや入乱すてひきと敵して面白くいよ
も味方も自とどろひかたよ勝負て平よかぶらかけ
りどして一時の戦ひよ敵くたりもちつちゃはさらに今
死ともあり。七手ひく大将ハ敵をよるこちりんでおら
おきて敵とそり大力のえをよきこにちかくにさ

上軍中にて安宅の冠者の御目にかゝれば安宅冠者と旗を
守りて君へ人が戦場の撤乎はしたしての給はんへは将兵も
顔もえひらりぶてと立ひて總大將は覺有べからず
とほめられたまひし存の戦ひよ其さい丈りて給を
はさぶ其まつかへ孫がまよつき乃ありまかやおん
してそのうたいは安宅の冠者旗章を御前にかざれども
ものそしらごた若殿原と院せして感應て亡らゆくとも知め
皆忠臣義士と下されるは名誉とかなしうるひの
御とわかし武士の命に生き君のめたのに命と捨るる
人臣の本懐後世のもるなくしも絶に一同まそとりそろ
まの後七ヶ丈夫の冥加よわずり大慶とてよしとするた

安宅の郎等は討死とんは当家の眉目一門の名誉
そのまゝにしてさんじうれ地よ貴は鬼とは
其井にあけんとさへ命にかへて宿縁ほどもちし
うらじはなかりしぞ七ヶ人とどめ一門が中に進むるは
母しばらくむしかえ先般殿又わうかまつらが為に
んやまそうびんなりまづ此人乃内我やただけの
みべきこなりは堀内と出さんしようらか安房ちは地
と若女の若なりば幾人も出して命をすたれとてべき
といふ七ヶ人やうておたらまてやれば出さんしとあの
冠者は姫君の為にかかり女房二十人の内八人囲は
命らたるもしとめとこしにのせ城中を出れ我身守るなり

[illegible]
とれば[illegible]の[illegible]
食してぶんたまはせしかばうんちんぐ
ちこあるをもよりまたしひられバ[illegible]
きうとわぐらゼんをとやぶ梅ばかりつまのみつやばんと
乃来のりわさぶこうしきしぶたりしいざやんく
[illegible]ぶんだらしいしせよいさぶりてわまびてせん年と
[illegible]百年のらひとだりあをさやあ来のばいあ
よ[illegible]名ば[illegible]よ[illegible]んしばとひらさぶ百金[illegible]
[illegible]けんで切て[illegible]ばいあ[illegible]年閏二月廿
[illegible]中乃[illegible]大軍をもつ[illegible]へぶしんてよ切て入と

[illegible]
ばとさいごの合戦なるもとばぶ[illegible]ぶたりけど
ぶばりちのごとけづりぶへをし者いあまたぶ[illegible]と
とし一生もあ[illegible]ちいたしかのばのごとかと[illegible]。
[illegible]と[illegible]ちよ敵ひぶ時[illegible]ぶ[illegible]百金[illegible]梅とたしへ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]乃田撰ぶ[illegible]ちぶ[illegible]ぶ[illegible]と[illegible]
んで自害す時わしかの[illegible]海牛人百人の士卒と
[illegible]ひらし[illegible]自殺[illegible]乃こせ[illegible]
なしぶぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]と[illegible]乃軍[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]合戦
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]

卷五
十四

卷五
十五

命名乗られバ政君を輿よのせ上陸つ流備
三げられ安んのめしバ僕もとけにごの武士あくりとうこゝ
源貧ハ主ようせの子父持氏公御んも自害ましまし勝安寺
と輿乃内ようとりんのいバすいわう廻向しあふびんの
うらしてそわつきたれし春子男女老若上下のながなが
なけしけつぱらくる遠けバかゝ鎌倉よ関名おも
くなほすんとぞしもう下流してこえおき模河大磯通
て鞠子御ゆぎきあぐら浦をすぎ小田原よ付のふすさまによ
つき箱根山の嶺ハ持氏の御合戦場の使者右御洞ヶ流
させぞんへ営社とかしらて流乃長昔乃
の新んひとたびハくつの夜を越流乃漫とい

ましてや関門や音羽のがなよう乃世の中所京よりの
元御けいとの武士よりの西ハ政君乃にハ事ハ前えそ條
家貞ありへしの宣旨のうちとり御名出所ハ持氏ハ治
事もやしとひあふ二人の心ハ是ハすいはしみこひのい
従しぞこうへけり哀れ也
よほひの世よあつてとは我もとく
事かの涼れ家と涙もし
とうふ流人ハ安まる波
うらか井れ名し涙やそそ
ありやすれとひうして流そてよ
と涙しあふのはへつき御輿をとせ室井の今は出る

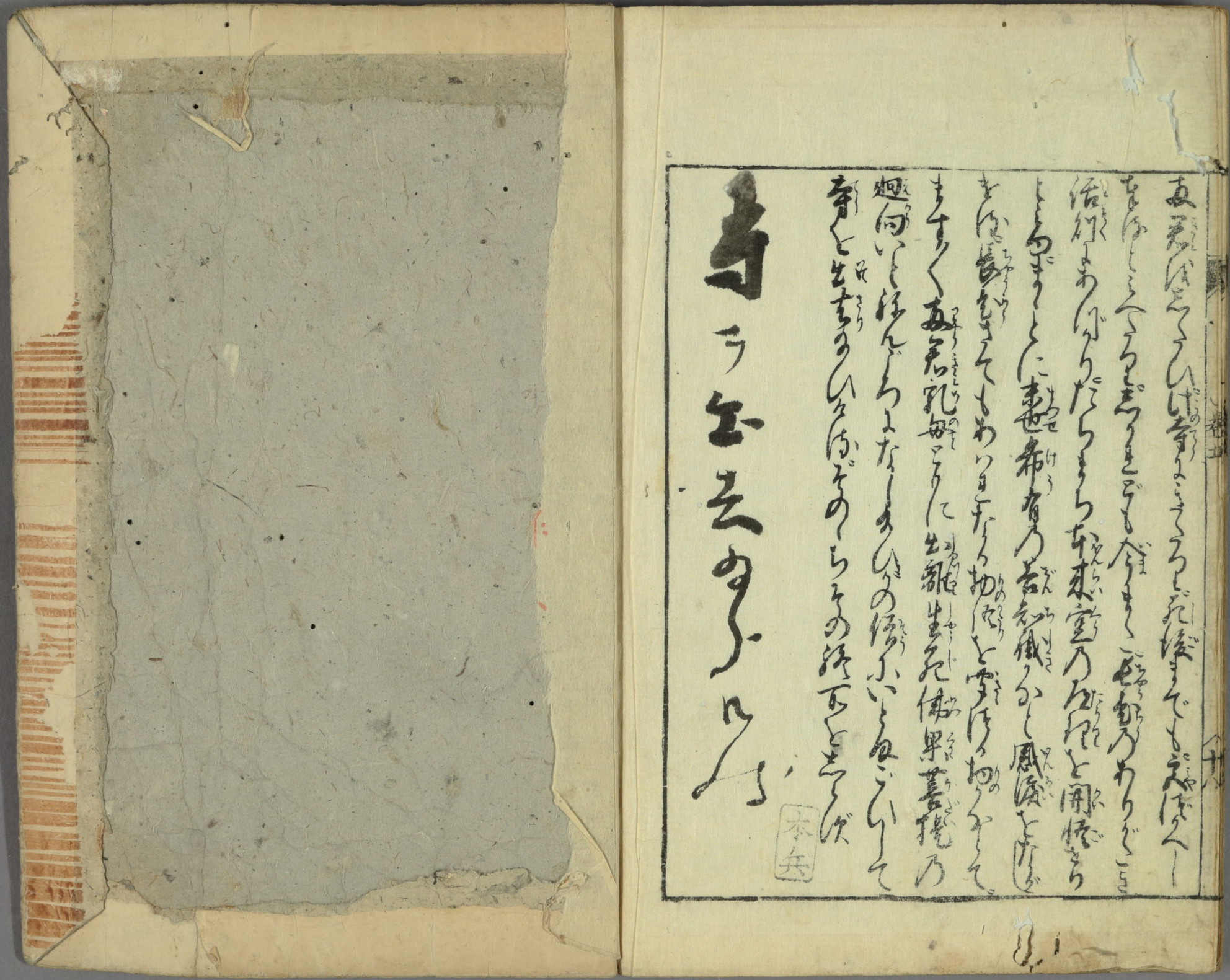
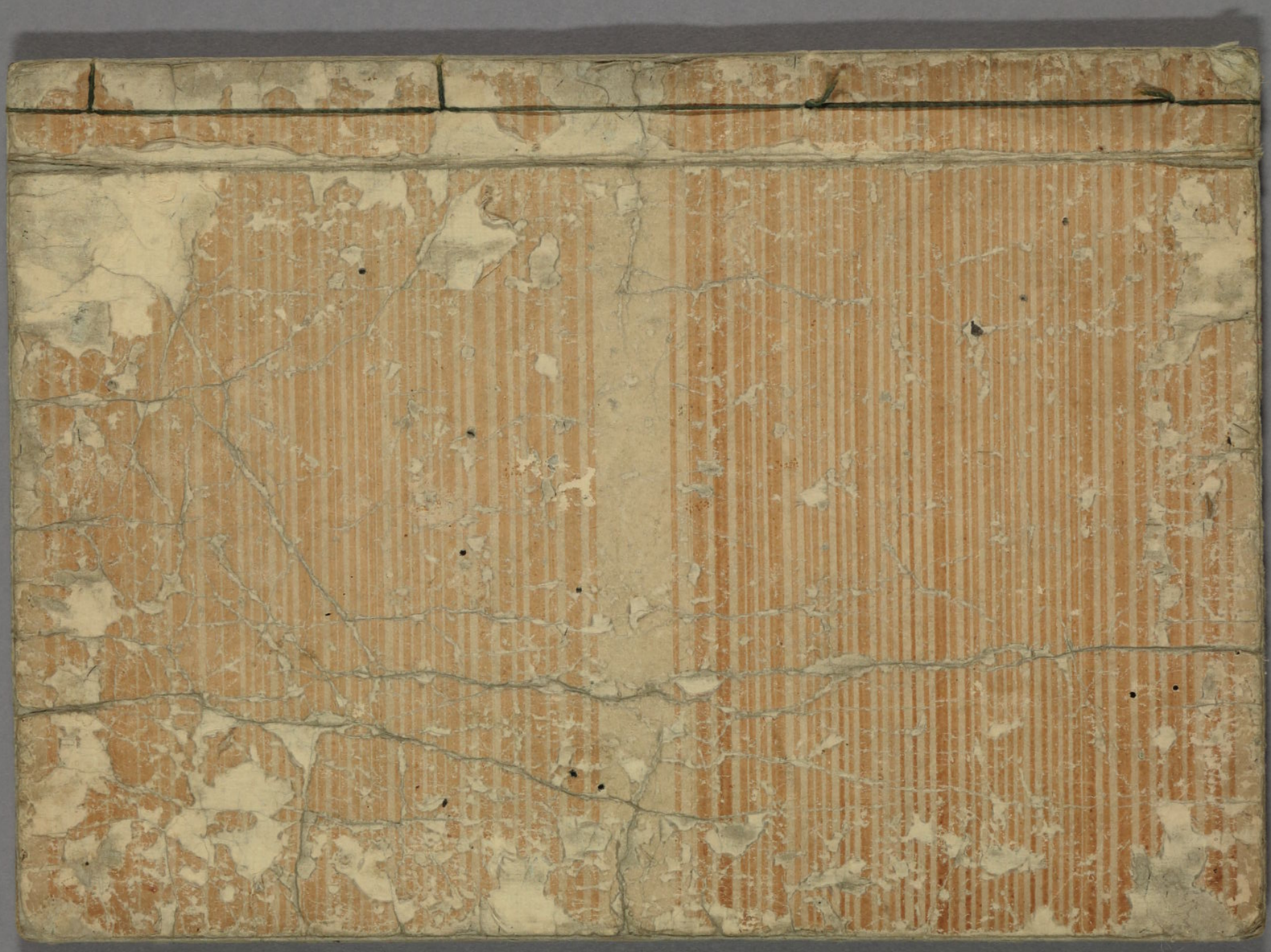
乃ち擬へ八ちまつよ人弟四まてゆまりし変化よりい
し時故源氏殿に昔ちとうとうしうしうしと毎日ぶちち
して廻向仕らせ給へやおの男乃八人等ちやはし盃と
出ぢよ人ひとりの人ハ妻主殿頭と殿方とおもていさやまうん女
まもはまと舞せし舞しうハ毎まをいかなりしうしうて
を舞たまふ

古郷ハ江よ時海乃うらうりや御行小乃わ宮
とぶ潮とうらん源の在とたまとけまへやとへ
し舞たまのへハぢよ人ハ皇漢乃衣とあしうひうう
一人乃のしぢ中源氏乃ぢ江ちんなりせまへ
けまハぢんしばちんまきまうとぢうそうへ三かつ書

しまうう春を殿ナこ業平を殿十一歳だなりこさ年
乃れおぐこ殿れ殿と御うとせうのハ宮殿のハ
かうまうまうし春とゆ御の紀母乃女房ハ始殿女よ
つさ海ひはへ御殿殿乃れうハけいこの貴士ごと
海はまくしれば業平ちしばわくはは首ぐう
御乃行へうとそおうきてきていりわいんぢやわう
ていきとうぎハ殿とまうたうハ祈りうまふうりけく
とうおのハしやはうまうへ今のうきれハわうさ海とまこ
うまうまうばかりでこ如ハぢうまで御殿ぢうそ
ていこうまうりうのうばぢ武士も海殿殿なりうそぢうに
海とうなうこ海ぢうて御殿ハ家ちよ美しうハ義教公

御仁恵捨ありて擬ひ継をもしてすぐ翠乃宮へ返
忝なく念主計をして御前もしてうらをとりしかし二行の墓
乃主となしまうらんて親母乃母屋ハおとなしうもうけれ
ほとらくしみそて[illegible]乃御湯次よくすらん数ハおりさ
くぞわりのましにとんべしずとしもしれわりバ隣[illegible]
あくとも向の乳母のてよのあたりてハ何事もさうに
らんバ父君[illegible]そてハたゞ二たすすませしとやうにならぬ
まうし人ハ何の所[illegible]まうしまさんとだふあかくと陳つ
うしむかし[illegible]さわへバいつさめて思ふしるそ[illegible]そて膝をとりと
されバそまらまうち血をすりたちて縁をり行ハ詰をれなりよ
僕のらみのあの七年余[illegible]乃務同ハ目もあてられぬ涙

才なりうしと申わりて親母抑きんくしい[illegible]げしく抗
叫とこもがあるれバじ[illegible]んや親母[illegible]金卿十遍じらし
ぞなんて[illegible]ひきりかしうへこそハすてよりれ
須[illegible]れしとるて[illegible]わりてしそ抑をとりて[illegible]をし今ハ是まで
なうしとてぞらふさまとらかちぐさも[illegible]ははらぐし[illegible]わけよ
なりて命生[illegible]まうしもなうし[illegible]くよ東山のわる寺
よ入[illegible]とねし[illegible]をとり六字乃名号百遍とらうる[illegible]し
ねくよ一首の辞世と云そうて

まてあけ[illegible]家の命れたをりうは
よのいきえありしたりけるくれ

こまりにぞくしれバいよしるしく[illegible]の亡[illegible]も